

Why Not Productions présente

第61回ヴェネチア国際映画祭正式出品

2005年セザール賞主演男優賞受賞 (マチュー・アマルリック)

監督・脚本: アルノー・デプレシャン 「そして僕は恋をする」



人生は
常に新しい!

私の名前はノラ。35歳。
愛した男は4人。
そしてふたりが死んだ。
でも悔やみはしない。

キングス & クイーン

un film de Arnaud Desplechin

エマニュエル・ドゥヴォス マチュー・アマルリック カトリーヌ・ドヌーヴ

共同脚本: ロジ・ボーボ 撮影: エリック・ゴージェ 製作: ホワイ・ノット・プロダクション

原題: Rois et Reine | 2004年 | フランス | 150分 | 35mm | シネマスコープ | カラー | ドルビーデジタル

提供: キガ・コミュニケーションズ SAGA 協力: 日活 配給・宣伝: boid & PGC



Emmanuelle Devos Mathieu Amalric ROIS ET REINE (KINGS & QUEEN) avec SCHULAMIT ADAR MARC BETTON NATHALIE BOUTEFEU

GILLES COHEN MAURICE GARBEL HIPPOLYTE GIRARDET VALENTIN LELONG FRANCIS LEPLAY NOEMIE LVOVSKY OLIVIER RABOURDIN

JEAN-PAUL ROUSSILLON CATHERINE ROUVEL JOACHIM SALINGER ANDREE TAINSY MAGALI WOCH ELSA WOLLASTON et la participation de

scénario ARNAUD DESPLECHIN et ROGER BOHROT image ERIC GAUTIER décors DAN BEVAN costumes NATHALIE RAOUIL montage LAURENCE BRIAUD son CHRISTIAN MONHEIM

musique originale GREGOIRE HETZEL DJ MEHDI une coproduction WHY NOT PRODUCTIONS - FRANCE 2 CINEMA - RHONE - ALPES CINEMA avec le soutien du CENTRE NATIONAL DE LA CINEMATOGRAPHIE - LA PROCIREP avec la participation de CANAL+ - CINECINEMA - LA REGION RHONE-ALPES - COFIMAGE 15 - WILD BUNCH

KINGS & QUEEN

Catherine Deneuve

musique originale GREGOIRE HETZEL DJ MEHDI

男はたった一本の直線上を生き、
女はいくつもの泡を移動して生きる。



ノラの息子
(ヴァランタン・ルロン=ダルモン)
「僕を好き？」



ノラの父親、作家 (モーリス・ガレル)
「わが娘よ、私はもうすぐ死ぬ。
お前が生き続け、私が死ぬのは
不公平だ。代わりにガンになれ」



ノラの最初の夫 (ジョアサン・サランジェ)
「僕は子供さ。でも君だって
そうだ。何ヶ月も怒り続けている」



ノラの3番目の夫、実業家
(オリヴィエ・ラブルダン)
「結婚指輪だ。戻ってから
渡そうと思ったが……
延期してもいいよ」



「人を愛することは、
何も求めぬことだと思ってた」

【ノラ】(エマニュエル・ドゥヴォス)
死を目前にした父親を持つ娘、
父親のいない子供の母親、
ブルジョア階級の男の婚約者



イスマエルの担当精神科医
(カトリーヌ・ドヌーヴ)
「昔の私ならあなたのように
“常識”を無視して楽しんでた。
でもいつか慣れるの、簡単にね」



イスマエルの姉、画家
(ノエミ・ルヴォグスキ)
「お前は兵隊ごっこで遊ぶ。
王様のつもりで勝手に振る舞う。
私の何を知ってるの!」



「失うには魅力的な殺人者だった。
僕は殺されないと信じた。
うぬぼれたバカだったよ」

【イスマエル】(マチュー・アマリック)
ノラの2番目の夫(書類上は未入籍)、
ヴィオラ奏者、非常識人



精神病院の常連患者
(マカリ・ヴォック)
「男にとって都合のいい女は
やめることにしたの。
自殺未遂や拒食症もヤメ」

彼女と彼らの、
愛と孤独に包まれた
幸福の選択——。

映画の歴史を変える、アルノー・デプレシャン渾身の最高傑作!

“トリュフォーの再来”と呼ばれ、才能を遺憾なく発揮し続けるアルノー・デプレシャン。5年振りに日本に届いた新作は、映画が生み出したあらゆるジャンル、物語、男女の関係性を巧みに利用しつつ大胆に組み合わせ、全ての「過去」を、現在と未来に向けて織り直す、新たな歴史の始まりと言える物語——。

名曲「ムーン・リヴァー」の調べにのせて世界中で感動の涙と称賛を呼んだ本作は、第61回ヴェネチア国際映画祭では絶賛とともに迎えられ、同年、最も優れたフランス映画に捧げられるルイ・デュリュック賞を受賞。また、フランスのアカデミー賞とも認識されているセザール賞では、マチュー・アマリックが主演男優賞を受賞している。

キングス&クイーン 監督・脚本：アルノー・デプレシャン「そして僕は恋をする」
出演：エマニュエル・ドゥヴォス「リード・マイ・リップス」、
マチュー・アマリック「ミュンヘン」、カトリーヌ・ドヌーヴ「8人の女たち」、モーリス・ガレル「柔らかな肌」
共同脚本：ロジェ・ボボ「天使が見た夢」 撮影：エリック・ゴティエ「モーターサイクル・ダイアリーズ」
製作：ホワイ・ネット・プロダクションズ 2004年 | フランス | 150分 | 35mm | シネマスコープ | カラー | ドルビーデジタル

www.kingsqueen.com webマガジン「デプレシャン・スクエア」にて、海外記事、インタビュー、トーク、批評などを4月下旬より全面展開!

6.17 [土]より **ロードショー**

特別鑑賞券¥1,500(税込) 発売中 当日一般¥1,800の処

リポーター割引▶「キングス&クイーン」の半券窓口提示で、一般・学生当日料金から¥300引き

[シアター]
イメージフォーラム

03 (5766) 0114 [自由席・定員入替制]

| 上映時間 | 12:30 | 15:30 | 18:30 |



渋谷駅より徒歩5分、宮益坂上駅先、スターバックス右手入る

「すべては映画のために! —アルノー・デプレシャン発言集—」 『キングス&クイーン』シナリオ・ブックのための序文、映画美術学校での2時間半の講義を完全収録(港の人)より6月18日発売(劇場先行発売) 劇場特価:1,200円(税込) 書店価格:1,575円(税込)